

主な検討事項例（案）

1. 大学入学者選抜における多面的な評価の内容や手法に関する事項

- 学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を把握するに当たり、一般、AO、推薦入試のそれぞれの選抜区分ごとに求められる多面的な評価の在り方について、どのように考えるか。
- その際、特に主体性等を入試で評価することの意義について、どのように考えるか。
- 高校や保護者側が期待する多面的な評価とはどのようなものか。

2. 調査書の在り方及び電子化手法に関する事項

- 次期学習指導要領に対応した指導要録の改訂及び学校の働き方改革による教員の負担軽減を踏まえた調査書の内容について、どのように考えるか。
- その際、観点別学習状況の評価の観点や、調査書の「指導上参考となる諸事項」の欄の取扱などについて、どのように考えるか。
- 「学習成績の状況」（旧「評定平均値」）の記載について、どのように考えるか。
- 調査書の電子化として、どこまでの仕組を求めるか。
- その際、調査書データの集積や管理、個人情報保護の在り方及び管理の主体について、どのように考えるか。特に、一元管理の利便性や課題についてはどうか。

3. 調査書や志願者本人記載資料の活用及び大学への情報提供の在り方に関する事項

- 調査書の活用に当たっての留意点について、どのように考えるか。
- その際、特に大規模大学における調査書の活用の課題はどのようなものか。また、調査書の活用に係る高校側の期待はどのようなものか。
- 志願者本人記載資料の内容を合否判定の資料として活用する場合の基本的な考え方について、どのように考えるか。
- 特に志願者が経済的な条件等に左右されず等しく多面的な評価の機会を得ることができるような評価の手法等について、どのように考えるか。
- 受験生の学びや活動成果等のデータの集積や管理、個人情報保護の在り方及び管理の主体について、どのように考えるか。特に、一元管理の利便性や課題についてはどうか。
- 民間事業者ポートフォリオの入試での活用について、どのように考えるか。